質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月7日

質問者氏名　石 原 幸 雄

牛久市議会議長　諸橋 太一郎 殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1.「うしタクの業務委託のあり方」について	うしタクの現行の業務委託先は市外業者であるが、地場産業育成の観点から、業務委託の更新に際しては市内業者を優先すべきと考えるがどうか？ 又、委託期間も4年とするべきと考えるがどうか？
2.「教育行政」について ①教育長の教育方針	教育長は学び合いの学習方式の見直しの方針を明言されているが、現行の何処をどの様に見直すのか？
②教科書の単独採択	2014 年の関係法令の改正により、小中学校で使用する教科書の採択については、市教育委員会での単独採択も可能とされたが、本市教育委員会もそれを検討しては如何か？
3.「市有財産の利活用」について	故障の為に総合運動公園内のドーム開閉式プールが放置されたままになっている。又、移転新築が予定されている牛久消防署跡地の利活用の計画は無いと聞き及んでいる。故にこれ等を民間事業者等へ賃貸する等により、税外収入の確保を検討すべきと考えるがどうか？
4.「本庁舎の建て替え」について	現行の本庁舎は内部スペースが狭隘であり、教育委員会等の部署の分散化も余儀なくされている。故に、各部署が同一の建物内か同一の敷地内に設置される様、本庁舎の建て替えを検討すべきと考えるがどうか？

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月8日

質問者氏名　柳 井 哲 也

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 奥野地区活性化策	1. 都会の人にとって魅力ある里山を更にすばらしい地域にするためには。 2. 名所旧跡や観光資源などのピックアップ 3. グランピング構想を仄聞しているが民泊導入の可能性 4. 牛久特産物販売所の設置とインバウンド対策
2. 牛久沼ニュータウン構想を	1. 牛久市に良質な宅地があれば、人口増加の可能性があるのではないか。 2. 中心部に「牛久沼駅」を 3. 小学校から高校までのインターナショナルスクール、研究所、事務所を誘致し、活力あるまちを目指す。（IT企業、データセンターなど） 4. 「災害に強いまち」を発信し世界一活き活きした自治体を目指す

※ この内容は具体的に記載してください。

質　問　通　告　書

次の件について質問の通告をいたします。

令和６年５月１５日

質問者氏名　　塚　原　正　彦

牛久市議会議長　　殿

一般質問	○	一括方式

質 問 事 項	要　　旨
うしくの教育ビジョンと新しい学びのモデルの構築について ―人へ投資する知の福祉を実現するための基本スキーム―	これまで牛久市が提唱してきた「学びあい」は、学校教育の教育方法で、地域社会の教育ビジョン、政策としての要件をみたすものではなかった。 社会のスマート化と人生１００年時代のライフシフトを視野にいれると、一人ひとりの生きるチカラを高める新しい教育ビジョンを提起し、新しいプレイヤーが参画する学びのモデルの開発に早急に着手すべきである。 そのためには、新しい視点から地域社会の教育をデザインするチームを結成し、実証実験を実施し、社会の富を創造するための学びの仕組みを構築する必要がある。 令和６年度に改定される教育大綱、総合計画の策定作業において、上記の視点にたった教育ビジョンと学びのモデル設計を提案するが、その考えを伺う。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6 年 5 月 16 日

質問者氏名　　甲　斐　徳之助

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. インフラ施設の老朽化対策、耐震化の現況と今後について	1. 上下水道の老朽化について。 老朽化が進み、改修・修繕などが必要。対策は。 また、耐震化についてはどうか。 具体的な対策計画はどのようになっているのか。 2. 下水道の使用料について 下水道の下水道使用料が改定されたが、老朽化・耐震化対策の費用も見込んでいるのか。 3. この値上げによる施設の改修修繕がどの程度担保されるのか。 4. 上下水道施設の耐震化について 必要性や緊急性をどのようにとらえているのか。 5. 上下水道施設の現況と今後について 現時点での耐震化の進捗はどのようか。
2. 地域通貨とマネーカード（電子）の連携について	1. これまで質問し、事業実施に取り組んでいくとの答弁のその後の進捗状況を伺う。 2 今後どのように進めていくか伺う。 ・事業計画 ・手法

※ この内容は具体的に記載してください。

質　問　通　告　書

次の件について質問の通告をいたします。

令和６年　５月１７日

質問者氏名　　鈴木　勝利

牛久市議会議長　殿

質　問　形　式 （該当する方式に○を記入してください）		一 括 方 式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
１．給付支援サービスの導入について	１ （１）デジタル庁が提供している給付支援サービスの内容 （２）本市の給付金支給手続きの方法 （３）給付支援サービス導入に対する見解 （４）デジタルディバイド解消に向けての対応
２．災害時の避難所のトイレ確保・管理について	２ （１）「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」に沿った「災害時のトイレ確保・管理計画」の作成状況 （２）トイレトレーラー導入及び導入済み自治体との協定締結に対する見解
３．補聴器購入の助成と軟骨伝導イヤホンの導入について	３ （１）補聴器購入の助成の拡充の検討状況と今後の対応 （２）難聴者に対する市役所窓口での対応方法 （３）軟骨伝導イヤホンの導入に対する見解
４．奨学金返還支援制度の導入について	４ （１）県内の奨学金返還支援制度導入自治体の最新状況 （２）奨学金返還支援制度導入の調査研究状況と今後の対応 （３）　本市採用教員の奨学金返還支援制度設計に対する見解

※　この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6年 5月17日

質問者氏名　山本 伸子

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 「たまり場」の成果と検証	1. たまり場補助金の3つの交付要件について伺う。 〇行政区の内外を問わず市民活動団体に貸し出していること、周辺地域を広く巻き込んだコミュニティづくりに役立てていることとした2つの要件についての市民への周知と認知度 〇年末年始を除き、年間3分の2以上の開放となっていることの負担感 2. たまり場の主な活動内容と今後目指すものについて伺う。 3. 補助金額が一律月額7万円であることの妥当性と見直しについて伺う。 4. 市社協が行っているふれあいサロンや地区社協で行っている住民交流部会等の活動との関連について伺う。 5. たまり場のクーリングシェルターとしての活用の成果と今後について伺う。
2. 持続可能な行財政運営のための定員管理	1. 定員管理のこれまでの考え方と取り組みについて伺う。 〇職員削減から適正配置への今までの経過 〇職員数の推移、年齢構成、再任用職員数（フルタイムと短時間）、会計年度任用職員数の推移、早期退職者の状況、人件費の推移

	2. 定員管理のこれからの考え方と計画について伺う。 〇定員の適正化に向けての基本的な考え方 〇定年延長制度への対応（フルタイム再任用職員の推移、役職定年制の導入における勤務延長型特例任用の考え方）、専門職や技術職の確保、会計年度任用職員の任用管理 〇目標とする職員数と人件費を想定した計画

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月20日

質問者氏名　黒木 のぶ子

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 先進自治体への視察研修について	(1)①各常任委員会視察に市の担当部署の職員が同行し、情報の共有 ②視察後に同行職員と議員とが視察の内容だけでなく、さまざまな気付きのディスカッションをする。
2. 交通弱者の救済について	(2)①高齢者へタクシー運賃助成 ・65歳以上の単身世帯 ・70歳以上の高齢者世帯 ※自家用車を運転する方は対象外
3. 孤独・孤立対策について	(3)①4月に孤独・孤立対策推進法が施行されたことで取り組む民間への支援 ②子どもの居場所作りと高齢者の見守りなどを含め世代間の交流がその場所へ行くことでできるところ。

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和　６年　５月 22日

質問者氏名　　加藤政之

牛久市議会議長　諸橋太一郎　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）について	① 最新のマイナンバーカードの取得率と、マイナ保険証の利用率について伺う。 ② 紙の健康保険証が廃止され、マイナ保険証に一本化するメリットついて。 ③ 紙の健康保険証の廃止とマイナ保険証の周知について。 ④ マイナ保険証が、何らかの理由で取得できない人への、本市としての対応について。 ⑤ マイナ保険証を作らない人の、今後の健康保険証の利用について。 ⑥ マイナ保険証利用によって確認されている問題について伺う。 ⑦ 紙の健康保険証廃止によって、今後予想される問題を本市としてどう対応するか伺う。

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月23日

質問者氏名 磯 山 和 男

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. グリーンファームについて	(1)グリーンファームの役割は (2)今後の経営方針は (3)直接には経営に結び付かないことでも、何か取り組もうとする考えなどはあるか
2. 岡見地区の公共交通について	(1)住民は不便であると感じているが、市は現状をどの様にとらえているか (2)改善(かっぱ号の乗り入れ等)への考えは
3. 旧奥野小学校の利活用について	(1)地域や市民の声を聞いたうえでの利活用についての現在の状況は (2)今後の進め方は (3)将来に渡っても地域住民や市民の要望により利活用していくことができるのか

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月23日

質問者氏名　小松崎　伸

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
牛久市の道路行政について 1. 市道の安全確認の実績と今後の計画	①市道における危険個所の把握や抽出について ②危険個所への対策の実績 ③実施した対策の効果 ④安全対策を実施する上での課題 ⑤今後の実施予定
2. 道路インフラの管理、長寿命化対策	①市道の舗装や橋梁等の道路インフラ施設の現状 ②これまでに実施した長寿命化対策の実績 ③点検の実施状況と結果 ④点検結果を反映した計画の策定と予算の確保 ⑤道路インフラが抱える課題と今後の計画

※ この内容は具体的に記載してください。

質　問　通　告　書

次の件について質問の通告をいたします

令和６年５月２７日

質問者氏名　　杉森　弘之　　㊞

牛久市議会議長　　殿

質 問 形 式		一括方式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
１、牛久市地域防災計画 （地震災害対策計画編及び風水害等対策計画編）	(1) 第２章 災害予防計画　　第１節　災害に備えた組織づくり １．市の活動体制の整備（地震災害編）　牛久市職員地震時初動対応マニュアル、業務継続計画（ＢＣＰ）、各部間の連携体制の整備、減災行動マニュアル ５．広域等相互応援体制 14 協定の現状認識と今後の計画　受援計画の策定（市町の１割） ６．民間企業の協力及び防災体制 42 協定の現状認識と今後の計画 ７．ボランティア　宗教団体との連携 (2) 第３章 災害応急対策計画　　第６節 避難収容活動 ２．避難場所　設置基準（スフィア基準、ＴＫＢ）、食事、設置期限、関連死０を目指すとの関係、福島第二原発事故では関連死 2,900 人 ４．応急仮設住宅　１戸 29.7 ㎡、災害発生から 20 日以内の着工、公営住宅等への一時入居、2 年以内の供与期間 (3) 第７節 物資の調達・供給活動　　食料、水、衣料・生活必需品、関連死０を目指すとの関係 (4) 第１７節 原子力災害における広域避難者の受入れ　受入れだけでよいのか　牛久市民の避難を考える必要性
２、原子力災害対策	(1) 災害対策基本法、災害対策基本法施行令と原子力災害対策 災害対策基本法　「災害」の定義として「大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害」 災害対策基本法施行令　「政令で定める原因は、放射性物質の大量の放出」、（市町村の責務）第五条「市町村は、基本理念にのつとり、基礎的な地方公共団体として、当該市町村の地域並びに当該市町村の住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関及び他の地方公共団体の協力を得て、当該市町村の地域に係る防災に関する計画を作成し、及び法令に基づきこれを実施する責務を有する。」 牛久市地域防災計画に原子力災害対策計画編が必要ではないか (2) 原子力災害対策の必要性　茨城県は東海村に 20 の原子力関係施設が存在

	し、特に東海第二原発の再稼働の動き、その特別な危険性＝稼働から 46 年の老朽原発、可燃性・老朽化の配線、他の原子力施設が近接し複合災害の可能性、半径 30 ㌔圏内に 92 万人居住し避難不可能、県のでたらめな避難想定 (3) 原子力災害の広範囲性　チェルノブイリ原発事故（北西 100 ㎞も避難地域）、福島第一原発事故（飯館村 40 ㎞も避難区域）、 牛久市は福島第一原発から 178 ㎞の距離だが事故当時ホットスポットに、東海第二原発からは 64 ㎞の距離でしかない (4) 減災数値目標の逃げ遅れ０を目指す、犠牲者０を目指す　丹波篠山市の例「とっとと逃げる」　ひたちなか市民の避難受け入れと牛久市職員の安全

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6 年 5 月 27 日

質問者氏名　水梨 伸晃

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に○を記入してください）		一 括 方 式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1.公立小中義務教育学校 体育館の空調設備について	1.第二次避難場所に指定されている市内公立小中義務教育学校体育館に空調設備を新たに置く予定はあるか 空調設置と合わせ断熱性確保のための工事が必要とあるが、その予定はあるか
2.牛久市子ども会育成連合会について	1.牛久市子ども会育成連合会に加入している子どもの人数を伺います 牛久市子ども会育成連合会が主催するイベントは市内全域の子ども会加入対象者向けの行事になっているのか 市の予算も投入されている牛久市子ども会育成連合会が主催するイベントは、市内全域の子ども会加入対象者向けの行事となるよう助言を行うべきと考えるが見解を伺う
3.婚活サポートセンター「であイバ」について	1.入会登録料の助成制度設置の予定はあるか

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月28日

質問者氏名　出 澤　大

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 本市の人口の状況について	1. 直近1年間の状況について 2. 県内で人口が増えている、または減少が小さい自治体との比較 3. 子育て世代への支援策について
2.本市の市内総生産について	1.県内の他自治体との比較 2.企業誘致について 3.キャッシュフローの地域内滞留について
3. グリーンファームや市内の農業の今後の展開について	1. 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金について 2. 地域おこし協力隊について
4. 地方自治法改正案に対する本市の受け止めについて	1. 自治体への指示権の創設について、国の関与は必要最小限とすると定めた地方自治法に反するとの懸念の声が各地から上がっているが、本市としてはどう考えるか。

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6 年 5 月 28 日

質問者氏名　　須 藤 京 子

牛久市議会議長　諸橋　太一郎殿

質 問 形 式 （該当する方式に○を記入してください）		一括方式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 人口減少時代に「選ばれ続ける」まちづくりに必要な地域ブランディング戦略について	1. （1）牛久市が選ばれ続けるため、これからの時代に有効な戦略としての「ブランディング」 ①牛久市の持つ価値、市の強みを抽出し、市の内外に共感、共鳴、伝播させていく取り組み ②ブランディングのシンボリックな存在としてのキャラクター活用
2. 介護等の福祉サービスを支える人材の確保策について	2. （1）介護事業所・障害福祉サービス提供事業所の人材確保を支援する取り組み ①介護等事業所の状況把握や課題抽出・解決する仕組み ②介護職員確保のための助成制度の創設
3. 最期までその人らしい「生き方と逝き方」を支える仕組みづくりについて	3. （1）超高齢・多死社会へと変化する社会に備えた取り組み ①医療・介護の現場での身元保証 ②通院・買い物支援・金銭管理などの日常生活支援 ③家族が担ってきた葬儀などの死後事務

※この内容は具体的に記載してください。

質　問　通　告　書

２０２４年　5月２８日

牛久市議会議長　諸橋太一郎　様

質問者氏名　大　森　和　夫

次の件について質問の通告をいたします。

質　問　形　式	１．一 括 方 式 ②．一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1　小中学校体育館の冷暖房断熱工事計画について	(1) 工事計画 (2) 補助金の有効活用
2　不登校の数・対策・実績について	(1) 令和５年度の小中学校：学校別 (2) 学年別男女別の数・原因過去７年 (3)対応した項目の内訳学年男女 復帰数、新規の数 不登校の定期的に連絡している数
3 学びあいの教育方針変更	(1)具体的な授業変更 (2)進め方
4 職員の定数などについて 職員定数、欠員、中途退職、ハラスメント、経験者独自採用	(1) 令和５年度採用実績 令和６年度採用計画 (2)研修・ハラスメント対策 (3)休暇取得状況　育休・介護・病気など
5　会計年度任用職員処遇について	(1) 賃金・特別給・最低賃金の適用時期など (2)社保、厚生年金

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6 年 5 月 28 日

質問者氏名　　遠藤 憲子

牛久市議会議長　諸橋 太一郎 殿

質 問 形 式 （該当する方式に○を記入してください）		一 括 方 式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 熱中症対策について	（1）「熱中症特別警戒アラート」の運用が４月から開始された。熱中症の健康被害が発生するおそれがある場合に、気象庁は「熱中症特別警戒アラート」を発表するが、市の取り組みは。 （2）学校・企業・市民への周知と対応は。 （3）全市町村に最低１か所以上のシェルター設置を求められているというが、どうか。
2. 高齢者のスポーツ振興に対して利用料金の減免と牛久運動広場テニスコートの改善	（1）高齢者になっても継続的にスポーツを行うことが健康維持にも役立ち、結果医療費の削減にもつながるのではないかと言われている。しかし、利用者から利用料金の減免を求める意見が寄せられており、前市長の答弁もあり、検討はされたのか。 （2）牛久運動広場テニスコートの改善は。
3. 国民健康保険税の中で、子どもの均等割りの免除を	（1）県は 2022 年度に国民健康保険税の課税方式を２ 式（所得割・均等割）に統一した。さらに県は ５億円を各市町村の 20 才未満の人数で按分し補助金として交付。市でも活用し子どもの均等割を半額にした。国は未就学児のみに均等割半額を限定している。現状はどうか。 （2）子どもの均等割は他の保険などにはなく、国保だけにあり被保険者の負担は重い。子育て支援の観点からも子どもの均等割の免除について。

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 6年 5月 28日

質問者氏名　髙嶋 基樹

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に○を記入してください）		一 括 方 式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 除草作業について	中央分離帯、道路、歩道、公園、区民会館、空き地の除草作業の分類 連携・景観美化・防犯・防災・除草時期・補助・予算等
2. 小学生の夏期登下校について	夏期は夏休み等により配慮がなされているが、その前後での熱中症対策は万全であるか？ 遠方より徒歩通学する児童の状況
3. 防災時の各家庭備蓄について	3日分は各家庭での備蓄を促しているが、保管場所の周知などは万全であるか？ 自主防災組織の分布と役割、活動実績は？

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月29日

質問者氏名　伊 藤 裕 一

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に○を記入してください）		一 括 方 式
	○	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 人口将来推計について	①『地方自治体「持続可能性」分析レポート』に関する所感を伺う。 ②総人口維持を目指すとする人口目標見直しの検討状況 ③市独自の移住支援策が必要と考えるが見解を伺う ④地域おこし協力隊について
2. 在宅介護について	①訪問介護の基本報酬引き下げに関し、把握している市内事業者並びに利用者の状況 ②介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況 ③市独自支援策について

※ この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月29日

質問者氏名　伊 藤 知 子

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 市庁舎建て替えの考え	・庁舎劣化度調査の報告の内容 ・執務環境の現状と課題は ・防災の観点からの課題は ・建設費と財源の考えは ・市庁舎の建て替えを今後検討されるのか、見解を伺う
2. 帯状疱疹ワクチンの公費助成	・公費助成の問い合わせや希望する声と、対応は ・帯状疱疹ワクチン助成の検討結果と進展を伺う ・国保の帯状疱疹医療費と、市の医療費抑制の考えは ・予算規模について ・施政方針に沿った予防ワクチンの公費助成の見解は
3. オーバードーズへの対策	・オーバードーズが疑われる救急搬送などの実態把握 ・販売者への要請内容とオーバードーズの相談体制は ・オーバードーズの周知は ・いのちの授業の内容 ・孤立、孤独を抱える若者の居場所づくりへの支援

※ この内容は具体的に記載してください。

質　問　通　告　書

次の件について質問の通告をいたします。

令和６年５月２９日

質問者氏名　藤田　尚美

牛久市議会議長　　殿

質　問　形　式 （該当する方式に○を記入してください）		一　括　方　式
	○	一問一答方式

質問事項	要旨
1.こども誰でも通園制度について	・導入するには、課題は何か。 ・一時保育事業とこども誰でも通園制度を市民が利用しやすくなるようどう考えていくのか。 ・導入することで、保育士不足をどのように確保していくのか。 ・こども誰でも通園制度についての周知方法
2.ひとり親家庭の支援	・ひとり親家庭に対する支援サービスは、どのようなものがあるか伺う。 ・習い事への助成の考え ・ひとり親家庭休養ホーム制度 ・父子家庭への支援の充実 ・就活応援の考え
3.ＨＰＶについて	・国は対象者にＨＰＶワクチンを接種することをすすめているのか。 ・ＨＰＶワクチンの効果 ・接種率は、十分といえるか ・ＨＰＶワクチンの男性への独自助成した自治体 ・本市で、想定した場合、対象者は何人で、かかる費用は、いくらになるか ・ＨＰＶ検査単独法の導入の考え

※この内容は具体的に記載してください。

質 問 通 告 書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年5月29日

質問者氏名　　池辺　己実夫

牛久市議会議長　殿

質 問 形 式 （該当する方式に〇を記入してください）		一 括 方 式
	〇	一問一答方式

質 問 事 項	要　　旨
1. 二所ノ関部屋との連携によるひたち野うしく地区の活性化について	(1)ひたち野うしく駅から二所ノ関部屋へと続く通りの愛称について ・通りの愛称の決め方は道路愛称選定委員会で議論されるようであるが、直近の事例について ・改めて、阿見町とも協議の上、ひたち野うしく駅から二所ノ関部屋へ続く通りに、「二所ノ関通り」との愛称をつけることについて (2)二所ノ関部屋と連携したまちの活性化について ・牛久市における二所ノ関部屋への支援の現状について ・牛久市スポーツ推進計画に基づく二所ノ関部屋との連携の現状について ・阿見町との連携による支援の実施について ・牛久市スポーツ推進計画に基づく二所ノ関部屋の力士たちとの交流について ・二所ノ関部屋と連携したひたち野うしく地区のシティ・プロモーションについて

※ この内容は具体的に記載してください。